

気管支喘息について No12



話題の新薬 オラビ錠口腔用 50mg

## 口腔咽頭カンジダ症治療剤

### 喘息予防のポイント

#### ① 生活習慣を整えよう

##### ● ストレスをためない

ストレスにより、自律神経の乱れなど体の機能を調節する体内物質のバランスがくずれ、喘息が悪化しやすくなります。休養をとってストレスをためこまないようにしたり、趣味や好きなことをして上手に発散するようにしましょう

##### ● タバコは喘息には厳禁

タバコの煙は気道の刺激になるだけでなく、喘息のもとである炎症を悪化させます

##### ● 十分な睡眠をとる

睡眠不足により疲労がたまると、風邪を引きやすくなったり、アレルギーに対してより敏感になったりします



#### ② 体調を整えよう

##### ● 風邪やインフルエンザの予防

風邪やインフルエンザなどのウイルス感染によってさらに炎症が強まり刺激を受けやすくなります。普段からうがいや手洗いなどを心がけましょう

##### ● 適度な運動をする

適度な運動により、心肺機能が高まり、基礎体力がアップして、発作がおこりにくい体になります

#### ③ 室内の環境を整えよう

##### ● アレルゲンの排除が不可欠

こまめに掃除と換気を行い、空気をきれいに保ちましょう

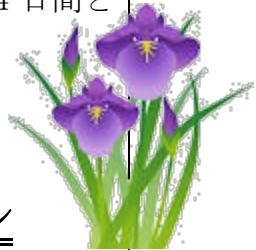
#### ④ 自己管理を行おう

##### ● 毎日の自己管理が肝心

喘息は、何年にもわたって毎日治療を続ける必要のある病気です。そのため、毎日の自己管理が必要です。自分の病気や服用している薬についての理解も大切です

富士フィルム富山化学は、口腔粘膜付着型 口腔咽頭カンジダ症治療剤「オラビ錠口腔用 50mg」を発売した。本剤は、口腔咽頭カンジダ症を治療する抗真菌剤「日局ミコナゾール」の新剤形医薬品で、錠剤を口腔粘膜に付着させることにより、口腔内に有効成分を長時間、持続的に放出できるように製剤設計を行った口腔粘膜付着錠。1日1回投与のため、服薬を管理しやすくなることが期待される。本剤の投与期間は原則として14日間とする。

薬価 1錠 = 1181.7円



## 副作用情報 イブランスカプセル

ファイザーから販売されている腫瘍用薬の「イブランスカプセル 25・125mg」は、直近3年8か月の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「間質性肺疾患関連症例」が6例（うち死亡0例）報告された。そのため重大な副作用の項に「間質性肺疾患」が追記された。

## 長時間働く男性、心筋梗塞リスク増

長時間労働の男性は、急性心筋梗塞になるリスクが高まるという研究結果を、大阪大や国立がん研究センターなどの研究チームがまとめた。1日11時間以上働くグループは、基準とした7～9時間のグループと比べて、リスクが1.6倍と高かった。女性については、急性心筋梗塞になる割合が男性に比べて低いなどの理由から調べていない。分析をした磯博康・大阪大教授（公衆衛生学）は、長時間労働によって精神的ストレスが増し、睡眠時間は短くなるため、生活習慣の乱れや血圧・血糖値の上昇につながる可能性を指摘。「長時間労働は健康に長期的な影響を及ぼすと考えられる。休みを確保し、残業を減らすなど働き方の改善のほか、定年退職後も含めて生活習慣に気をつけることが大切だ」と話す。

